

行政事業レビューシート (国土交通省)																																					
予算事業名	シブプリサイクルに関する総合対策		事業開始年度	平成19年度		作成責任者																															
担当部局庁	海事局		担当課室	船舶産業課		課長 今出秀則																															
会計区分	一般会計		上位政策	海事産業の市場環境整備・活性化及び人材の確保等を図る																																	
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-		関係する計 画、通知等	-																																	
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)	船舶の解体(シブプリサイクル)に係る安全確保及び環境保全のための新条約「2009年の船舶の安全かつ環境上適正な再生利用のための香港国際条約(仮称)」が2009年5月に採択されたことを受け、同条約の早期発効に向け、国際海事機関(IMO)における関連ガイドラインの策定、国内における条約執行体制の整備等を推進し、もって国際的な安全で環境に優しいシブプリサイクルシステムの構築を図る。また、世界に先駆けて先進国型シブプリサイクルシステムを構築し、国内における大型船のリサイクルを促進する。																																				
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	主要なシブプリサイクル国のシブプリサイクル施設能力の調査及び国内におけるシブプリサイクル施設確保のためのフィージビリティスタディ調査等を行うとともに、地方都市で、パイロットモデル事業(シブプリサイクル実証実験・環境影響・事業性評価、新技術手法の調査研究)を実施し、国内における先進国型のシブプリサイクルシステムを確立するための指針等を策定する。																																				
実施状況	【平成21年度】 主要なシブプリサイクル国のシブプリサイクル施設能力の調査を行うとともに、国内におけるシブプリサイクル施設確保のためのフィージビリティスタディ調査等を1件実施。																																				
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求																															
	予算額(補正後)	8	7	306	10	20																															
	執行額	4	4	7																																	
	執行率	50.0%	57.1%	2.3%																																	
	総事業費(執行ベース)	-	-	-																																	
自己点検	支出先・ 用途の把握 水準・ 状況	調査について、その内容、進め方について必要な指示を行うとともに報告書を提出させ、予算が目的に沿って効果的に使用されていることを確認している。																																			
	見直しの 余地	今後も支出先の用途把握を通じ契約内容の点検・見直しを行う等、効率的かつ効果的な予算執行に努める。																																			
予算 監 視 の 効 率 化	【抜本的改善】 パイロットモデル事業として実施している事業であるが、本調査を踏まえ、より効果的な事業手法や政策手段がないかを検討し、より実効性のある仕組みへと見直すべき。																																				
補 記	H22年度予算へ事故繰越: 299,145,000円																																				
	【予算科目】																																				
	071 海事産業市場整備等推進費																																				
	95 海事産業の市場環境整備・活性化等の推進に必要な経費 (21年度予算額) (21年度決算見込額)																																				
	<table border="0"> <tr> <td>95016</td> <td>-</td> <td>2129</td> <td>-</td> <td>06</td> <td>諸謝金</td> <td>0 百万円</td> <td>0 百万円</td> </tr> <tr> <td>95016</td> <td>-</td> <td>2122</td> <td>-</td> <td>08</td> <td>外国旅費</td> <td>4 百万円</td> <td>4 百万円</td> </tr> <tr> <td>95016</td> <td>-</td> <td>2122</td> <td>-</td> <td>08</td> <td>委員等旅費</td> <td>0 百万円</td> <td>0 百万円</td> </tr> <tr> <td>95016</td> <td>-</td> <td>2123</td> <td>-</td> <td>09</td> <td>海海事産業市場整備等推進調査費</td> <td>302 百万円</td> <td>3 百万円</td> </tr> </table>						95016	-	2129	-	06	諸謝金	0 百万円	0 百万円	95016	-	2122	-	08	外国旅費	4 百万円	4 百万円	95016	-	2122	-	08	委員等旅費	0 百万円	0 百万円	95016	-	2123	-	09	海海事産業市場整備等推進調査費	302 百万円
95016	-	2129	-	06	諸謝金	0 百万円	0 百万円																														
95016	-	2122	-	08	外国旅費	4 百万円	4 百万円																														
95016	-	2122	-	08	委員等旅費	0 百万円	0 百万円																														
95016	-	2123	-	09	海海事産業市場整備等推進調査費	302 百万円	3 百万円																														

国土交通省
7百万円

旅費、謝金、委員等旅費
4百万円

国内における先進国型のシュッ
リサイクルシステムを確立する



【 一般競争入札 】

A. (株)日本海洋科学
3百万円

主要なシュッリサイクル国のシュッ
リサイクル施設能力の調査を行うとともに、
国内におけるシュッリサイクル施設確保
のためのフージビリティスタディ調査等
を実施

資金の流れ
(資金の受け取
り先が何を行っ
ているかについ
て補足する)
(単位:百万円)

※H22年度予算へ事故繰越(299百万円)

21年度に先進国型シュッリサイクルシステム構築に関する調査(パイロットモデル事業)を実施。本事業には、船主から大型外航船を提供してもらい、当該船舶の解体実証実験を実施する内容が含まれている。

当該船舶の入港が船主と荷主との契約オプションにより、当初予定から3ヶ月遅れることとなり、年度内に本事業を完了することが不可能となったため、22年度に予算を繰越して、引き続き本事業を実施する。

A.(株)日本海洋科学			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
外部委任	海外調査	2			
人件費	調査実施人件費	1			
その他	旅費	0			
計		3	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)